

人格教育教員輩出

カリブ海 キューバ

① 人格教育推進プロジェクト

概要：教員の研修・教育についての研究などを行いキューバの公教育の改善に努力しているキューバ教育者協会（APC：Asociación de Pedagogos de Cuba）が、WFWP ドミニカ共和国支部が実施している人格教育の内容に深い関心を寄せ、これをキューバに適した形で導入したいということから、WFWP キューバ派遣員に本プロジェクトの提案があり、2014年1月に支援を開始。

進展状況

【2017】

- 新規参加4校の師範学校で、2017年1月から生徒を対象にした人格教育のパイロット授業を実施。505人の生徒が参加。
- マヤベケ校では、2ヶ月に1回保護者教育の場があり、保護者と個別に面談することもある。教官が各生徒の抱える問題を理解することで、より適切な助言ができるようになった。

【2018】

- 全国の多数の師範学校からプロジェクトへの参加要請があり、新たに2校が参加し、合計9校となった。
- マタンサス大学で、参加9校の人格教育講師（コーディネーターを含む）を対象にした研修ワークショップを2泊3日で開催した。全国から24人の教員が参加。

② 価値倫理教育推進プロジェクト

概要：キューバの公教育における価値・倫理教育の向上に貢献することを目的に、2012年度より国立教育大学教育倫理学講座（所属教授約10名）に対して倫理教育関係の著書出版経費や、国家倫理ワークショップ運営費用、事務経費の一部を支援。

進展状況

【2017】

5月16日、国立教育大学にて、同大学倫理学講座主催の「国家倫理ワークショップ」が開催され、松本有利子キューバ派遣員が冒頭に主賓として挨拶を行った。

【2018】

5月23日、国家倫理ワークショップが開催され、150人の教育関係者が参加した。

その中で、松本派遣員が2人の教授と共著した書籍が紹介された。これらの書籍の出版を含めた教育倫理学講座への教育・研究活動に対するプロジェクトの継続的な貢献が認められ、松本派遣員に「新たな黄金賞」が国立教育大学副学長より授与された。



ラスツナス師範学校の人格教育ワークショップ



「新たな黄金賞」を受賞した松本派遣員



共著した書籍

その他人格教育実施国：セントルシア